

平成22年度 蒲郡市生命の海科学館事業報告

平成23年4月1日

蒲郡市生命の海科学館

Gamagori Museum of Earth, Life and the Sea

目 次

平成22年度は「改革元年」	1
I 展示部門	2
1 展示室	
2 シアター	
3 企画展	
4 蒲郡の科学コーナー	
5 資料提供	
II ソフト部門	4
1 サイエンスショーとワークショップ	
2 講演会等	
3 訪問事業	
4 研修等の受け入れ	
III 科学館ネットワークの構築	16
1 協力者	
2 協力企業団体	
3 他団体との連携	
IV 広報活動	17
1 広報活動	
2 館長からのあいさつ	
3 マスコミ搭載記事等	
(1) テレビ	
(2) 雑誌等	
(3) 新聞	
V 入館者数	21
1 入館者数の推移	
2 学校等団体の来館	
VI 研究部門	23
1 著書・論文	
2 学会発表	
3 講演	
4 研修	
VII 組織・運営	24
1 名称変更	
2 組織	
3 施設の整備	
4 歳入・歳出	
VIII 反省と今後の課題	25
23年度に向けて	27

平成22年度は「改革元年」

平成22年4月1日に館長に就任して以来、スタッフとともに様々な改革を進めてきた。その成果は十分に現れた1年間であった。

ここに至るまでの経過を振り返ってみよう。

平成11年7月20日にオープンした生命の海科学館の利用者数のピークは開館年で、この年は約8ヶ月の開館期間であるにもかかわらず48,163人であった。その後漸減して平成18年度には21,497人にまで落ち込んだ。

この減少傾向を反映し、そのあり方について、廃止論、存続見直し論等が指摘されるようになった。

平成19年12月「生命の海科学館見直し検討委員会準備会」が発足することになった。

平成20年5月に「蒲郡市生命の海科学館見直し検討委員会」が設置され、閉鎖を視野に入れて運営の改善が検討された。同年12月には「報告書」がまとめられ、結論として地域に根差し地域社会や学校との連携活動を重視する市民のための科学館としての存続が決まった。

次いで平成21年6月には「生命の海科学館実施計画策定委員会」が設置され、同年12月「報告書」がまとめられた。改革の基本的な考え方として、展示室をわかりやすく改装し、市民には「親しみやすさ」を打ち出した。

この基本的な理念を作り上げる過程で、平成21年9月には報告書に先行して専任学芸員が付けられた。

なお、改革が始まる前年、平成21年度の利用者数は18,395人であった。市民の利用者はわずか2,710人、全体の15パーセントに過ぎない。

平成22年4月から館長（非常勤）とインタープリター（非常勤）1名を付けて、改革に着手した。

平成22年度は「改革元年」であった。目指す方向は「わかりやすく、親しみやすく」である。

「わかりやすく」は3階の展示室の課題であった。

「親しみやすく」の実現のために、科学館事業として新しくサイエンスショー、ワークショップ、市民向けの科学に関する講演会などを行った。

ここにこれらの1年間の事業をまとめておくことにする。

なお、「わかりやすく、親しみやすく」を実現するために今後目指す方法は3点に集約される。

- 1、1階の改装、3階展示室はさらに「わかりやすく」を追究
- 2、学校の理科教育、生活教育、遠足等で科学館を活用してもらえるようにする
- 3、ワークショップ、出張事業の充実

これからも地域の文化活動の一つの拠点として発展充実させていく所存である。ご支援をお願いする。

平成23年4月1日

館長 川上昭吾

I 展 示 部 門

1 展示室

以下の改善を行った。

- (1) 照明の改善 展示室が暗かったため、照明を明るくした。
- (2) 障壁の設置 入館者は展示室に入ると、最終地点のイクチオザウルスの明るいショーケースが見通せるため、直線的に最終地点に向かう傾向が見られた。そこで、中間に1枚の衝立を設置した。これは所期の目的を達成している。
- (3) ハンズオン展示の導入 鉄隕石を普通の石と重さ比べをする場所、三葉虫を手に触れることができる場を設置した。後者にはアンモナイトも置いた。
- (4) ボイスペンを設置 音声による解説を開始した。ボイスペン 50 台の購入費用は 984,900 円であった。
- (5) バナー 5 種類のバナーを設置して、展示ブースを明確にするようにした。しかし、設置を希望した場所は、スプリンクラーの効果を妨げる箇所であったため消防法上認可されず、やむを得ず壁際に設置した。
- (6) テレビ設置 3階の入り口に科学館を概観する内容のテレビ、展示室内に生物進化を解説するテレビを設置した。また、アノマロカリスの発見史を小型のテレビで流すようにした。しかし、これは他の音声と区別ができなくなったため、中止した。
- (7) 解説パネルの設置 展示をわかりやすく説明するパネルを2種類設置した。1種類は簡単な説明文、もう1種類は短文による説明である。
- (8) マリンスタッフの説明 マリンスタッフが説明を行うようにした。
- (9) カンブリア紀の区別 エディアカラ紀、チェンジャン動物群化石、バージェス動物群化石が区別してわかるようにパネルを設置した。

なお、入場者はVITをほとんど利用していない。「くるくるバージェス」と「バージェス水槽」の映像を見るものが少ない。

平成 11 年開館時に導入した当時では最新であったコンピュータ機器の老朽化が進んでいる。

2 ミュージアムシアター

ミュージアムシアターでは、「ゲーム：生命の海への旅立ち」、及び「マルチメディア地球儀：さわれる地球」を用いたプログラムの上映を、約1時間ごとに交互に行っている。「さわれる地球」の上映においては、館自作の4つのプログラム「よみがえれ！アノマロカリス」、「変化する地球の大気」、「地球の中をのぞいてみよう」、「星くずから生まれた海」をランダムに上映している。

平成 22 年度には特別企画として、3Dの映像（「アルビン号の深海探検」上映時間約 20 分間）を導入し、7月 19 日から9月 5 日、及び10月 12 日から平成 23 年5月までの土休日に上映を行った。

3 2011 年夏の企画展

独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て、7月 19 日から9月 5 日まで、蒲郡市生命の海科学館 2011 年夏の企画展「深海パラダイス！ ～ようこそ極限の世界へ～」を1階ホールで開催した。

会場が1階の一角であったため開放的すぎ、特別企画で開催している雰囲気を出すことができなかった。

4 蒲郡の科学技術コーナー

3階の無料スペースにある情報ラウンジには、アート作品 3 点が展示されていた。株式会社中日ステンドアート制作で本社から寄贈を受けた「ルミアート絵画」1点と、メディアアート作品 2 点、岩井俊雄「映像装置としてのピアノ」（1995）、及び中ザワヒデキ「不可視関数試論」（1996）である。生命の海

科学館 3 階に「蒲郡市の科学・技術」の展示を設けるにあたり、「ルミアート絵画」は展示から外し、またメディアアート作品 2 点については 7 月 12 日をもって篠山チルドレンズミュージアムに移譲、移設した。

新たに設けた「蒲郡の科学・技術」のエリアには、入り口から順に、「展示室を概括的に説明する動画の上映（テレビの設置）」、「蒲郡市環境チャレンジの成果展示」、「蒲郡市内の企業等の事業・製品紹介」、及び「愛知工科大学研究紹介」のコーナーを設けた。

5 資料提供

教科書、資料集、雑誌等に当館の展示物が利用された。以下に示す。

申込日	出版社	出版物	対象
2010 年 5 月 7 日	実教出版株式会社	平成 24 年度用『科学と人間生活』 (再来年の新課程から設けられる高校理科の科目用教科書)	(写真) ・イスア礫岩 ・アカスタ片麻岩 ・縞状鉄鉱層 ・ストロマトライト化石 ・三葉虫ユンナノケファルス化石
2010 年 5 月 25 日	数研図書株式会社	平成 24 年度用 高等学校 理科『地学基礎』(文部科学省検定教科書)	(写真) ・グリパニア化石
2010 年 5 月 28 日	小学館	恐竜なんでも全百科 A6 版 192 ページ 著者 藤田将人/監修富田幸光	(写真) ・ディッキンソニア化石 ・ハイコウイクチス化石
2010 年 5 月 30 日	第一学習社	平成 24 年度用 『地学基礎』(文部科学省検定教科書)	(写真) ・アカスタ片麻岩 ・ハイコウイクチス化石
2010 年 6 月 15 日	(株)ワークス・ゼロ	地球生物データファイル(仮) 発行 株式会社デアゴスティーニ・ジャパン 書籍体裁 A4 変形サイズ、全 32 ページ	(写真) ・ハルキゲニア写真
2010 年 10 月 25 日	(株)月刊ニュートン	「生命史大事件ファイル」(ニュートンムック)	(写真) 1) ヨホイア化石 2) バージェソキータ化石 3) ピカイア化石 4) レアンコイリア化石 5) ハルキゲニア化石 6) オットイア化石 7) ヘリオメデューサ化石 8) アカントメリディオ化石 9) フキシャンフィア化石 10) ユンナノケファルス化石 11) エルドニア化石 12) ワプティア化石 13) イソキシス化石 14) マオティアンシャニア化石 15) ハゼリア化石 16) クルミロスポンギア化石
2010 年 12 月 13 日	(株)美和企画	子供向け科学雑誌「週刊 かがくる」(朝日新聞社刊) / 再刊による再掲	(写真) マーチソン隕石
2011 年	(株)ワークス・ゼロ	地球生物データファイル(仮) 発行	(写真)

1月25日	ロ	株式会社 デアゴスティーニ・ジャパン 書籍体裁 A4 変形サイズ、全 32 ページ	ハイコウエラ
2011年 1月26日	放送大学学園	大学院向け科目『現代地球科学』 第8回「多細胞動物の爆発的多様化事件」	(写真) ・ハゼリア ・ハイコウイクチス ・ストロマトウェリス

Ⅱ ソフト部門

1 サイエンスショーとワークショップ

平成23年度に実施したサイエンスショーとワークショップは以下のものである。

(1) ゴールデンウイーク

1) 4月29日(木・昭和の日)

ワークショップ「紙トンボをつくって、とぼそう」 講師：浅井インタープリター

時間：午前10時45分から 午前11時45分から 午後2時30分から 午後3時30分から

人数：各回20名(開催15分前から受付開始、定員になり次第受付終了) 参加費：無料

ワークショップ「ダンボールでつくろう！アノマロカリス工場」 講師：水野工場長

参加費：350円(材料費等実費)

2) 4月30日(金)

「展示室を楽しもう！学芸員によるワンポイント展示解説」 ナビゲーター：山中学芸員

時間：午前10時45分から 午後2時30分から。 参加費：科学館観覧料が必要です

3) 5月1日(土)

ワークショップ「かんたんホーバークラフトをつくろう」 講師：浅井インタープリター

時間：午前10時45分から 午後2時30分から 人数：各回20名(開催15分前から受付開始、定員になり次第受付終了) 参加費：無料

ワークショップ「ダンボールでつくろう！アノマロカリス工場」 講師：水野工場長

参加費：350円(材料費等実費)

4) 5月2日(日)

ワークショップ「ブレイクする～！こわして作ろう塩のサイコロ」 講師：山中学芸員

時間：午前10時45分から 午前11時45分から 午後2時30分から 午後3時30分から

人数：各10名 参加費：100円

ワークショップ「ダンボールでつくろう！アノマロカリス工場」 講師：水野工場長

参加費：350円(材料費等実費)

5) 5月3日(月)

サイエンスショー「マイナス196度の不思議な世界！！」 講師：愛知教育大学 岩山勉教授
と学生さんたち 時間：午前10時45分から 午後2時30分から

ワークショップ「ダンボールでつくろう！アノマロカリス工場」 講師：水野工場長

参加費：350円(材料費等実費)

6) 5月4日(火)

サイエンスショー「技と化学が力を合わせてみんなの感動を 化学マジックショー♪」 講師：

愛知教育大学 戸谷義明教授と学生さんたち 時間：午前10時45分から 午後2時30分から
ワークショップ「ダンボールでつくろう！アノマロカリス工場」 講師：水野工場長
参加費：350円（材料費等実費）

7) 5月5日(水)

サイエンスショー「空気って、すげえ ドラム缶が・・・」 講師：浅井インタープリター
時間：午前10時45分から 午後2時30分から
ワークショップ「ダンボールでつくろう！アノマロカリス工場」 講師：水野工場長
参加費：350円（材料費等実費）

8) 5月6日(木)

「展示室を楽しもう！学芸員によるワンポイント展示解説」 ナビゲーター：山中学芸員
時間：午前10時45分から 午後2時30分から 参加費：科学館観覧料が必要

9) 5月7日(金)

「展示室を楽しもう！学芸員によるワンポイント展示解説」 ナビゲーター：山中学芸員
時間：午前10時45分から 午後2時30分から 参加費：科学館観覧料が必要

10) 5月8日(土)

ワークショップ「でっかいシャボン玉をつくってみよう」 講師：浅井インタープリター
時間：午前10時45分から 午後2時30分から 定員：各20名 参加費：50円（材料費等実費）

11) 5月9日(日)

ワークショップ「化石発掘にチャレンジ！」 講師：山中学芸員
時間：午前10時45分から 午前11時45分から 午後2時30分から 午後3時30分から
定員：各10名 参加費：100円（材料費等実費）

(2) 夏休み

1) 7月19日(月・海の日)

サイエンスショー「ソーラーバルーンをとばそう！」 講師：浅井インタープリター
時間：午前10時45分から 午後2時から

2) 8月1日(日)

ワークショップ「思いは伝わる。エッ！(電気と磁石)」 講師：浅井インタープリター
時間：午前10時から 午後1時から 定員：各30名
サイエンスショー「化学マジックショー♪」 講師：戸谷義明さん(愛知教育大学 教授)と
学生さんたち 時間：午前11時から 午後2時から
講演会「南極のお話」 講師：戸田茂さん(愛知教育大学 准教授・蒲郡市在住)
時間：午後5時30分から

3) 8月2日(月)

ワークショップ「1石トランジスタラジオ作り」 平岩和通さん(平岩動物病院長)
時間：14時から 定員：10名 参加費：500円

4) 8月3日(火)

ワークショップ「バイオ・アドベンチャー」 講師：(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリ
ング 時間：10時から 14時から 定員：各30名

5) 8月4日(水)

ワークショップ「界面活性剤とは 界面活性剤の実験」 講師：竹本油脂(株)
時間：10時から 14時から 定員：各30名

6) 8月5日(水)

ワークショップ「ごま油のできるまで ごま油を作ってみよう」 講師：竹本油脂(株)
時間：10時から 14時から 定員：各30名

7) 8月6日(水)

ワークショップ「発酵技術とは 健康と美の科学技術の紹介」 講師：(株)東洋発酵
時間：10時から 14時から 定員：各30名

- 「あいちいきものキャラバン隊」 モリゾー・キッコロとカップインゲーム、ビンゴゲーム開催
時間：10時から15時
- 8) 8月7日(土)
ワークショップ「ポンポン船作り」 講師：堀内智晴さん(蒲郡市立中央小学校 教諭)
時間：10時から 14時から 定員：各20名
トークイベント「深海パラダイス！海の世界の生物多様性」 講師：藤倉克則さん(JAMSTEC 海洋・極限環境生物圏領域 教授) 講師：小林龍二さん(竹島水族館 学芸員)
時間：19時30分から20時45分 定員：80名
- 9) 8月8日(日)
ワークショップ「微生物観察」 講師：坂田貴仙さん(愛知県総合教育センター 職員)
時間：11時から 13時から 14時から 定員：各15名
- 10) 8月9日(月)
ワークショップ「発酵技術とは 健康と美の科学技術の紹介」 講師：(株)東洋発酵
時間：10時から 14時から 定員：各30名
- 11) 8月10日(火)
ワークショップ「なるほどなっとく・あたらしい電気とこれからの電気」 講師：杉江電設(株)
時間：10時から 14時から 定員：各20名
- 12) 8月11日(水)
ワークショップ「チャレンジ！電気の実験・工作教室」 講師：杉江電設(株)
時間：10時から 14時から 定員：各20名
- 13) 8月12日(木)
ワークショップ「発電のしくみを学ぼう！！いろいろな電気を体験しよう」 講師：中部電力(株)
時間：10時から 14時から 定員：各20名
- 14) 8月13日(金)
ワークショップ「アナログおもちゃ屋さん」 講師：見神元義さん(大日本図書 職員)
時間：10時から 14時から 定員：各20名
「竹島周辺の磯の生物観察」 講師：片山舒康さん(東京学芸大学 教授)
時間：12時から 定員：20名
- 15) 8月14日(土)
ワークショップ「おもしろ科学実験」 講師：村越英昭さん(蒲郡市立西浦小学校 教頭)
時間：10時から 14時から
星空観察「親子夏の星座とペルセウス座流星群観察」 講師：蒲郡市内教員
時間：19時30分から 定員：40名 (注：雨のため中止せざるを得なかった)
- 16) 8月15日(日)
ワークショップ「安加比古焼でつくるぶんちん・ペン立て」 講師：加藤隆生さん(安加比古窯 第3代目) 時間：10時から 14時から 定員：各20名 参加費：300円
サイエンスショー「へえー？ひかりってフ・シ・ギ！！」 講師：岩山勉さん(愛知教育大学 教授)と学生さんたち 時間：11時から 14時から
- 17) 8月16日(月)
ワークショップ「ふうせんスライムをつくろう」 講師：二川理科実験教室
時間：10時から 11時から 13時から 14時から 定員：各20名
- 18) 8月17日(火)
ワークショップ「地球温暖化を学ぼう 化学実験しよう」 講師：(株)東海分析化学研究所
時間：10時から 14時から 定員：各30名
- 19) 8月18日(水)
おはなし「里山の話(人形劇)と野鳥の話(ハーモニカ演奏)」 講師：渥美守久さん(カラスの弁護人) 時間：10時から 14時から 定員：各80名
- 20) 8月19日(木)

ワークショップ「虹を作る装置を作ってみよう！ 光の分光器で虹を作ろう」 講師：(株)ニデック 時間：10時から 14時から 定員：各30名

21) 8月20日(金)

ワークショップ「ロープで夏休みの工作を作ろう！ ロープのかんたんなお話」 講師：稲葉製網(株) 時間：10時から 14時から 定員：各20名

22) 8月21日(土)

ワークショップ「からくり体操人形づくり」 講師：伊藤広司さん(豊明市唐竹小学校 教諭) 時間：11時から 13時から 14時から 15時から 定員：各20名

おはなし「読み語り」 講師：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさん 時間：19時から 定員：50名

23) 8月22日(日)

ワークショップ「音でぐるぐる回そう おもちゃづくり」 講師：山本太郎さん(豊橋市立東部中学校 教諭) 時間：10時から 11時から 定員：各40名

24) 8月23日(月)

ワークショップ「すごいぞ！光とレンズ 学ぼう！実験しよう！」 講師：伊藤光学工業(株) 時間：10時から 14時から 定員：各30名

25) 8月24日(火)

ワークショップ「ぶんぶんゼミをつくろう(竹細工)」 講師：広瀬紀明さん(元蒲郡市立形原小学校 校長) 時間：10時から 定員：15名

ワークショップ「空気ゴマづくり」 講師：水野弘淳(当館職員) 時間：14時から 定員：20名

26) 8月25日(水)

ワークショップ「みかん染め体験」 講師：竹島クラフトセンター 時間：10時から 14時から 定員：各12名 参加費：500円

27) 8月26日(木)

ワークショップ「空き缶の貯金箱作り」 講師：キリンビール(株) 時間：10時から 14時から 定員：各20名

28) 8月27日(金)

ワークショップ「おもしろ科学実験」 講師：おもしろ科学実験キャラバン隊 時間：10時から 14時から

29) 8月28日(土)

ワークショップ「ピンホールカメラで写真を撮ろう」 講師：水藤直毅さん 時間：10時から 定員：15名 参加費：200円

ワークショップ「ものづくりを体験しよう！」 講師：アイシン・エイ・ダブリュ(株)

時間：14時から 15時から 定員：各30名

30) 8月29日(日)

ワークショップ「タッチパネルを使ったマジックショー 人気ゲーム機の仕組みを解明しよう」 講師：(株)鈴寅 時間：10時から 14時から 定員：各30名

(3) 9月

1) 9月5日(日)

ワークショップ「じしゃくってほんとはねー磁石の本質ー」 講師：石田博幸さん(中部大学教授) 時間：14時から 15時 定員：20名 参加費：無料

2) 9月12日(日)

ワークショップ「超かんたん！でんきパンづくりー電気の性質ー」 講師：浅井インタープリター 時間：14時から 15時 対象：小学校中学年以上 定員：24名 参加費：無料

3) 9月18日(土)

おはなし「読み語り」 朗読：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさん

時間：19時から 20時 フルート演奏：佐野周二さん ピアノ伴奏：市川博彩さん 参加費：無料

- 4) 9月19日(日)
 ワークショップ「空気コマづくり」 講師：水野弘淳(当館職員)
 時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料
- 5) 9月25日(土)
 ワークショップ「化石発掘にチャレンジ！」講師：山中学芸員
 時間：14時から15時 対象：小学校高学年以上 定員：20名 参加費：無料
- 6) 9月26日(日)
 ワークショップ「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」 講師：川上昭吾(当館館長)
 時間：13時30分から15時30分 対象：小学校高学年以上 定員：20名 参加費：無料

(4) 10月

- 1) 10月2日(土)
 ワークショップ「ダンボールでつくろう！アノマロカリス工場」 講師：水野工場長
 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：350円
- 2) 10月3日(日)
 ワークショップ「発泡スチロールでつくる“ゆったり、ふんわり鳥”」 講師：浅井インタープリター
 時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料
- 3) 10月9日(土)
 ワークショップ「アナログおもちゃ屋さん「錯視であそぼう」」 講師：見神元義さん(大日本図書 職員) 時間：13時30分から14時30分 定員：30名 参加費：無料
 市民講座「蒲郡一受けたい科学授業 あなたの知らない目の世界」 講師：(株)ニデック 眼鏡事業部 眼鏡機器開発部 技師 金澤雄一郎さん
 時間：14時00分から15時30分 定員：70名 参加費：無料
- 4) 10月10日(日)
 ワークショップ「花火の玉皮工作 ライオンを作ろう」 講師：太田薫さん(有限会社 太田紙工) 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：500円
- 5) 10月11日(月・祝)
 ワークショップ「風・磁石・空気で遊ぼう」 講師：野田敦敬さん(愛知教育大学教授)
 時間：14時から15時 対象：小学校低学年 定員：30名 参加費：無料
- 6) 10月16日(土)
 「水中ロボット、生き物教室」 講師：林正道さん(海洋楽者)
 時間：11時から 14時から 参加費：無料
 おはなし「読み語り」 朗読：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさん
 時間：19時から20時 参加費：無料
- 7) 10月17日(日)
 ワークショップ「ミニチュア飾り馬制作教室」 講師：人形のうまかん職人 鈴木東一郎さん(有限会社 馬勘商店) 時間：11時から 14時から 定員：各30名 参加費：700円
- 8) 10月23日(土)
 ワークショップ「草木染めをやってみようⅠ」 講師：酒井定さん(元小学校 教諭)
 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料
- 9) 10月24日(日)
 ワークショップ「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」 対象：小学校高学年以上
 時間：13時30分から15時30分 定員：20名 参加費：無料
- 10) 10月30日(土)
 ワークショップ「鉋物とあそぼう！」 講師：山中学芸員
 時間：14時から15時 対象：小学校高学年以上 定員：20名 参加費：100円
- 11) 10月31日(日)
 ワークショップ「おもしろ科学実験」 講師：おもしろ科学実験キャラバン隊

時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料

(5) 11月

1) 11月6日(土)

ワークショップ「アナログおもちゃ屋さん「光であそぼう」」 講師：見神元義さん(大日本図書 職員) 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

講演会「ヨーロッパの科学館からのメッセージ」 講師：野上智行さん(国立大学協会専務理事 前神戸大学長) 時間：15時30分から 定員：80名 参加費：無料

2) 11月7日(日)

ワークショップ「でんちをつくろう」 講師：浅井インタープリター 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

3) 11月13日(土)

ワークショップ「化石発掘にチャレンジ！」 講師：山中学芸員 時間：14時から15時 対象：小学校高学年以上 定員：20名 参加費：100円

4) 11月14日(日)

ワークショップ「君も持ってる！？不思議な脳力」 講師：佐藤成哉さん(愛知淑徳大学 教授) 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

5) 11月20日(土)

ワークショップ「草木染めをやってみようⅡ」 講師：酒井定さん(元小学校 教諭) 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料
おはなし「読み語り」 朗読：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさん 時間：19時から20時 参加費：無料

6) 11月21日(日)

ワークショップ「ふうせんスライムをつくろう」 講師：二川理科実験教室 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

7) 11月27日(土)

ワークショップ「リコー・サイエンスキャラバン コピー機になってみよう！」 講師：(株)リコージャパン 時間：14時から 15時から 定員：各40名 参加費：無料

8) 11月28日(日)

ワークショップ「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」 講師：川上昭吾(当館館長) 時間：13時30分から15時30分 対象：小学校高学年以上 定員：20名 参加費：無料

(6) 12月

1) 12月4日(土)

ワークショップ「おもしろ科学実験」 講師：愛知県青年の家おもしろ科学実験キャラバン隊 時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料

2) 12月5日(日)

市民講座「蒲郡の蝶について」 講師：竹内元一さん(元蒲郡市民病院外科部長) 時間：14時から15時 定員：60名 参加費：無料

ワークショップ「化石のレプリカづくり」 講師：鈴木麻未さん他(愛知教育大学) 時間：15時から16時 定員：20名 参加費：無料

3) 12月11日(土)

ワークショップ「海藻できれいな絵を描こう」 講師：片山舒康さん(東京学芸大学 教授) 時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

4) 12月12日(日)

ワークショップ「イルミネーションづくりに参加しよう！」 協力：(有)ティック・タック・トオウ・稲葉製綱(株)・三栄製綱(株)・竹内電気興業(株) 時間：(1) 13時から14時 (2) 14時30分から15時30分(16時30分からアピタ蒲郡店東側にて点灯) 定員：各20名(光る浮き球

づくり・光る海の生物づくり 各 10 名/先着希望順) 参加費：無料

5) 12 月 18 日 (土)

ワークショップ「静電気であそぼう」 講師：浅井インタープリター

時間：14 時から 15 時 定員：30 名 参加費：無料

おはなし「読み語り」 朗読：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさん

時間：19 時から 20 時 参加費：無料

6) 12 月 19 日 (日)

ワークショップ「クリスマス・キャンドルを作ろう！」 講師：小田美紀さん (蒲郡市博物館 学芸員)・山中学芸員 時間：14 時から 15 時 対象：小学校高学年以上 (中学年以下は保護者同伴)

定員：30 名 参加費：100 円

7) 12 月 25 日 (土)

ワークショップ「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」 講師：川上昭吾 (当館館長)

時間：13 時 30 分から 15 時 30 分 対象：小学校高学年から中学生 定員：20 名 参加費：無料

8) 12 月 26 日 (日)

ワークショップ「音でぐるぐる回そう おもちやづくり」 講師：山本太郎さん (豊橋市立東部中学校 教諭)

時間：(1) 13 時 30 分から (2) 14 時 30 分から 定員：各 40 名 参加費：無料

(7) 1 月

1) 1 月 8 日 (土)

ワークショップ「化石とあそぼう！」 講師：山中学芸員

時間：14 時から 15 時 対象：小学校高学年以上 (中学年以下は保護者同伴) 定員：20 名 参加費：100 円

2) 1 月 9 日 (日)

ワークショップ「シャボン玉であそぼう」 講師：浅井インタープリター

時間：14 時から 15 時 定員：25 名 参加費：無料

3) 1 月 15 日 (土)

ワークショップ「空気コマづくり」 講師：水野弘淳 (当館職員)

時間：14 時から 15 時 定員：30 名 参加費：無料

おはなし「読み語り」 朗読：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさん

時間：18 時から 19 時 参加費：無料

4) 1 月 16 日 (日)

ワークショップ「低温の世界を見てみよう」 講師：浅井インタープリター

時間：14 時から 15 時 定員：30 名 参加費：無料

5) 1 月 22 日 (土)

ワークショップ「オリジナル「水のワークショップ」」 講師：(株) INAX

時間：14 時から 15 時 30 分 定員：20 名 参加費：無料

6) 1 月 23 日 (日)

ワークショップ「望遠鏡をつくろう」 講師：愛知工科大学 学生会のみなさん

時間：14 時から 15 時 定員：20 名 参加費：無料

7) 1 月 29 日 (土)

ワークショップ「大切にしよう生命の水」 講師：NPO 法人テクノプロス 川村益彦さん

時間：14 時から 15 時 対象：小学校高学年以上 定員：20 名 参加費：無料

8) 1 月 30 日 (日)

ワークショップ「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」 講師：川上昭吾 (当館館長)

時間：13 時 30 分から 15 時 30 分 対象：小学校高学年から中学生 定員：20 名 参加費：無料

(8) 2 月

1) 2月5日(土)
ワークショップ「おもしろ科学実験」 講師：愛知県青年の家おもしろ科学実験キャラバン隊
時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料

2) 2月6日(日)
ワークショップ「ブーメランをつくろう」 講師：浅井インタープリター
時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料

3) 2月12日(土)
ワークショップ「チリモン水族館をつくろう」 講師：竹島水族館
時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

4) 2月13日(日)
ワークショップ「チリモン水族館をつくろう」 講師：竹島水族館
時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

5) 2月19日(土)
ワークショップ「望遠鏡をつくろう」 講師：愛知工科大学 学生会のみなさん
時間：10時から11時 定員：25名 参加費：無料
ワークショップ「化石クイズにチャレンジ！」 講師：山中学芸員
時間：14時から15時 対象：小学校高学年以上(3年生以下は保護者同伴) 定員：30名
参加費：科学館展示室の入場料(当日のチケット、もしくは市民利用証)が必要
お話「読み語り」 朗読：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会の皆さん
時間：18時から19時 参加費：無料

6) 2月20日(日)
ワークショップ「ピンホールカメラをつくろう」 講師：愛知工科大学 学生会の皆さん
時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

7) 2月26日(土)
ワークショップ「おもちゃづくり」 講師：野田敦敬さん(愛知教育大学 教授)
時間：14時から15時 対象：小学校低学年 定員：30名 参加費：無料

8) 2月27日(日)
ワークショップ「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」 講師：川上昭吾(当館館長)
時間：13時30分から15時30分 対象：小学校高学年から中学生 定員：20名
参加費：無料

(9) 3月

1) 3月5日(土)
ワークショップ「光の箱をつくろう」 講師：水野弘淳(当館職員)
時間：14時から15時 定員：20名 参加費：100円

2) 3月6日(日)
ワークショップ「マイ電池づくり」 講師：浅井インタープリター
時間：14時から15時 定員：25名 参加費：無料

3) 3月12日(土)
ワークショップ「鉱物とあそぼう！ペラペラ雲母のフシギ」 講師：山中学芸員 時間：14時から15時 対象：小学校高学年以上(4年生以下は保護者同伴) 定員：20名 参加費：100円

4) 3月13日(日)
ワークショップ「かがく絵本の世界～読み聞かせと科学あそび～」 講師：廣濱紀子さん(愛知教育大学)・長沼健さん(愛知教育大学特別教授)
時間：11時から12時 定員：30名 参加費：無料
ワークショップ「アナログおもちゃ屋さん「おもしろい音で遊ぼう」」 講師：見神元義さん(大日本図書職員)
時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料

5) 3月19日(土)

ワークショップ「化石のレプリカづくり」 講師：鈴木麻未さん他(愛知教育大学)

時間：14時から15時 定員：20名 参加費：無料

おはなし「読み語り」 朗読：金沢ヒューマン文庫を愛し守る会の皆さん

時間：18時から19時 参加費：無料

6) 3月20日(日)

科学講座「耳からわかる私たちの先祖、それは魚！」 講師：石田博幸さん(中部大学教授)

14時から15時30分 定員：60名 参加費：無料

ワークショップ「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」 講師：川上昭吾(当館館長)

時間：13時30分から15時30分 対象：小学校高学年から中学生 定員：20名 参加費：無料

7) 3月21日(月)

ワークショップ「特殊メイク体験」 講師：市川さん(現ハリウッド在住、特殊メイクアップアーティスト) 時間：14時から15時30分 定員：10名 参加費：100円

ワークショップ「環境わごん」 講師：本田技研工業(株) 協力：Honda Cars 蒲郡((有)蒲郡ホンダ販売) 時間：14時から15時30分 定員：20名 参加費：無料

8) 3月26日(土)

ワークショップ「空気のでドラム缶をつぶそう」 講師：浅井インタープリター

時間：14時から15時 定員：30名 参加費：無料

9) 3月27日(日)

ワークショップ「地球のかけらでアートしよう 岩絵具(いわえのぐ)の世界」 講師：牧野クミ(ART SCHOOL リトル主宰)・山中学芸員

対象：小学校高学年以上(3年生以下は保護者同伴) 定員：20名 参加費：100円

サイエンスショーもワークショップも利用者は非常に多かった。親子一緒に物作りに夢中になったり、作ったおもちゃで遊んで歓声を上げたり、サイエンスショーでは目の前で見る科学変化に目を丸くしていた。現在社会が、親子で一緒に活動するということを渴望していたのではないだろうか。

参加者から次のような感想が寄せられた。当館の活動に対する率直な印象が述べられている：

「今まで敷居の高いイメージだった科学館が、何だか今年の夏は違いました。寺子屋風にエコなおもちゃを教えてくれる日もあれば、ハイテク産業の最先端をつき進んでいる企業の優しい科学講義や簡単工作と、毎日がどれをとっても面白く、新鮮でした。テレビでサイエンスショーを見ても感動がいまいちで、本当に見ている気にはなれないし、子供達の前で再現させようにも、場所や自分の知識が乏しくて、何をしたらいいのかわからず、諦める事が多かったのですが、今年の生命の海科学館のスタッフの方々は、こんな歯がゆい毎日を送っている私を救ってくれました。「こんなにいろんな事やってるんだから毎日行こう。」と誘った小2の息子は、最初こそ「えー。」と言っていたのに、毎日行く為に宿題を必死でやっていました。家に帰ってからは、工作物で遊んでいました。ポンポン船の時は、タライの水にボウフラがわくまでしばらく遊んでいたのが困ったことも……。時には、子供の好奇心で拾ったただの石ころを磁鉄鉱や宝石に使う原石の大粒が入っていると教えてもらい、子供の途方もない夢は広がるばかりでした。自分たちで工夫をする遊び方を知らない世代は、親にもまわりの環境にも問題がありますが、好奇心の芽をつまない、子供のなぜに答えてあげられる大人でありたいと、スタッフの方々を見ていて改めて思いました。その手助けをして頂ける場所の一つとして、今後の科学館にさらなる発展を心から望んでいます。」

非常に意義深い文化活動を創造できたと思っている。この事業は引き続き質的、量的充実を図っていく必要がある。

2 講演会等

当科学館が「わかりやすく、親しみやすく」をモットーに改革を進めたうち、大人向けに打ち出した新しい企画である。

- (1) 講演会 「南極のお話」 講師：愛知教育大学准教授 戸田茂（蒲郡市内在住）
日時：8月1日（日曜日）午後5時30分から（※午後5時15分開場）
会場：ミュージアムシアター 参加費：無料 参加者：70名
講演では、実際に南極大陸で使用した機器を示しながら、南極大陸周辺の地球内部構造とそこから分かった地球ダイナミクスについてお話し下さいました。その他、南極観測に携わった愛知県に關係の深い方々のお話や南極の自然についてもお話されました。また、隊員でなければ持っていない品々を様々に見せて下さり、テレビでの講演とは全く異なる趣になりました。
- (2) JAMSTEC・竹島水族館・生命の海科学館 共催企画
トークイベント「深海パラダイス！海の世界の生物多様性」
講師：JAMSTEC 海洋・極限環境生物圏領域教授 藤倉克則
竹島水族館学芸員 小林龍二
司会：生命の海科学館学芸員 山中敦子
日時：8月7日（土曜日）午後7時30分から8時45分（※午後7時15分開場）
会場：ミュージアムシアター 参加費：無料 参加者：60名
藤倉さんは、深海生物の奇妙奇天烈な形だけでなく、深海生物の本当の不思議さはその生き方であるといえます。「しんかい6500」で実際に海に潜って観察・実験してきた深海生物の不思議を紹介されました。
小林さんは、水族館でこれまで飼育してきた不思議な深海生物や、その飼育方法、面白エピソードなどをお話しされました。
- (3) 市内企業による科学講座 「蒲郡一受けたい科学授業 あなたの知らない目の世界」
講師：（株）ニデック 眼鏡事業部眼鏡機器開発部技師 金澤雄一郎
日時：10月9日（土曜日）午後2時から3時30分（※午後2時15分開場）
会場：サイエンスショー会場 参加費：無料 参加者：40名
“目”にはふしぎがいっぱい。どうやってものを見ているの？ どうして目が悪くなるの？ そんな目の「なに？」「なぜ？」をお話しされました。最後に、全員で「今日からできる目の体操」にチャレンジ！
- (4) 講演会 「ヨーロッパの科学館からのメッセージ」
講師：前神戸大学学長、博士（教育学）、国立大学協会専務理事 野上智行
日時：11月6日（土曜日）午後3時30分（※午後3時15分開場）
会場：ミュージアムシアター 参加費：無料 参加者：70名
アメリカやイギリスの国力を誇示するような巨大な科学技術系博物館はさておき、小さな規模で、学校と地域社会、そして大学が連係して運営される科学館は魅力的で、その魅力はどこにあるのかを事例を元に話されました。当科学館の在り方を示唆された意義深い講演でした。
- (5) 市民講座 「蒲郡の蝶について」
講師：元蒲郡市民病院外科部長 竹内元一
日時：12月5日（日曜日）午後2時～3時（※午後1時15分開場）
会場：メディアホール 参加費：無料 参加者：25名
蒲郡で見ることが出来る蝶について、蝶の食草と生態を中心に解説し、観察できる時期や場所、撮影の仕方などを、実際に撮った写真を示しながら話されました。また、最近の温暖化と蝶の分布変化についても解説されました。身近な自然の一端に触れて感動。
- (6) 市民講座 「耳からわかる私たちの先祖、それは魚！」
講師：中部大学教授、前愛知教育大学教授 石田博幸
日時：3月20日（日曜日）午後2時～3時30分（※午後1時45分開場）

会場：メディアホール 参加費：無料 参加者：30名

魚の骨格模型を見てもエラは残されていませんが、エラにも小さな骨がついています。魚が進化してエラが要らなくなった時、これらの骨はどこへいったのでしょうか？陸上のすべての脊椎動物にこれらの骨はしっかり残っています。耳小骨として！

進化をテーマとする当科学館にピッタリの話題、エラの骨が耳小骨に進化と聞いてビックリ！

3 訪問事業

平成 22 年度実施した訪問事業は以下のようである。

訪問者	訪問目的	訪問日	曜日	訪問先	対象	人数合計
川上昭吾	授業実施及び研修講師	5月12日	水	知多市立中部中学校	生徒 38 名+教員 38 名	76
山中敦子	課外活動講師	5月22日	土	蒲郡市立竹島小学校	児童 (6 年生)	30
川上昭吾	研修講師	5月27日	木	蒲郡市立南部小学校	教員	21
川上昭吾	理科授業の実施及び 教員研修の講師	6月3日	木	中国北京市遠洋小学校	児童 40 名+教員 12 名	52
川上昭吾	教員研修講師	6月10日	木	知多市立中部中学校	教員	38
山中敦子	環境チャレンジ	6月10日	木	蒲郡市立西浦小学校	児童	47
山中敦子	環境チャレンジ	6月11日	金	蒲郡市立大塚小学校	児童	61
川上昭吾	教員研修講師	6月17日	木	岡崎市立竜谷小学校	教員	10
浅井猛	環境チャレンジ	6月25日	金	蒲郡市立竹島小学校	児童	57
山中敦子	環境チャレンジ	6月28日	月	蒲郡市立西浦小学校	児童	47
浅井猛	環境チャレンジ	6月29日	火	蒲郡市立西部小学校	児童	44
浅井猛	環境チャレンジ	7月9日	金	蒲郡市立大塚小学校	児童	61
浅井猛	環境チャレンジ	7月12日	月	蒲郡市立竹島小学校	児童	57
浅井猛 水野弘敦	ワークショップ	7月30日	金	蒲郡市立蒲郡西部小学校	児童 15 名+教員 2 名	17
浅井猛	ワークショップ	7月31日	土	蒲郡市立蒲郡東部小学校	児童	200
川上昭吾	教員研修講師	8月2日	月	愛知県総合教育センター	教員	20
川上昭吾	教員研修講師	8月3日	火	愛知県総合教育センター	教員	20
浅井猛	星空観察	8月3日	火	蒲郡市立三谷小学校	児童 52 名保護者 26 名	78
浅井猛	星空観察	8月8日	日	蒲郡市立西浦小学校	児童 30 名保護者 15 名	45
浅井猛	環境チャレンジ	8月9日	月	蒲郡市立蒲郡西部小学校	児童	44
山中敦子	講演	8月17日	火	幡豆郡一色町生涯学習センター	一般	20
川上昭吾	教員研修講師	8月19日	木	知多市立中部中学校	教員	80
浅井猛	理科研修	8月19日	木	蒲郡市立蒲郡西部小学校	教員	13
川上昭吾	研修講師	9月2日	木	岡崎市教職員組合理科部	教員	80
浅井猛	環境チャレンジ	9月7日	火	蒲郡市立三谷小学校	児童	47
川上昭吾	授業実施及び研修講師	9月8日	水	一宮市立神山小学校	児童 35 名 教員 35 名	70
山中敦子	理科授業の実施	9月8日	水	岡崎市立豊富小学校	児童 (6 年生)	51
浅井猛	環境チャレンジ	9月9日	木	蒲郡市立三谷小学校	児童	47
山中敦子	環境チャレンジ	9月21日	火	蒲郡市立竹島小学校	児童	57
浅井猛 水野弘敦	ワークショップ	9月22日	水	蒲郡市立三谷東小学校	児童	49
山中敦子 浅井猛	みかわの海とくらす日	9月23日	木	一般公募参加者	親子	96

川上昭吾	教員研修講師	9月28日	木	知多市立中部中学校	教員	10
川上昭吾	教員研修講師	9月30日	木	知多市立中部中学校	教員	10
浅井猛 鈴木麻未	移動化石授業	10月7日	木	蒲郡市立大塚小学校	児童	62
川上昭吾	交流	10月8日	金	韓国ソウル市漢陽大学校	大学教員	7
川上昭吾	研究会講師	10月13日	水	岡崎市竜谷小学校研究発表会	教員	100
山中敦子	講演	10月16日	土	愛知県モリコロパーク	COP10 イベント参加者	100
川上昭吾	学会発表	10月17日	日	シンガポール南洋工科大学	聴衆	100
川上昭吾	講師・パネルディスカッションの司会担当	10月29日	金	阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクト	教員	300
浅井猛	ワークショップ	10月30日	土	蒲郡市立三谷中学校	生徒	35
浅井猛	ワークショップ	11月3日	水	蒲郡市立西浦中学校	生徒	17
川上昭吾	教員研修講師	10月28日	木	知多市立中部中学校	教員	10
浅井猛	授業	11月13日	土	蒲郡市立三谷東小学校	児童	51
川上昭吾	教員研修講師	11月4日	木	知多市立中部中学校	教員	10
川上昭吾	教員研修講師	11月5日	金	知多市立中部中学校	教員	30
山中敦子	理科授業の実施	11月17日	水	岡崎市立愛宕小学校	児童（6年生）	34
山中敦子	理科授業の実施	12月6日	月	蒲郡市立西浦小学校	児童（6年生）	54
浅井猛 水野弘敦	ワークショップ	12月7日	火	蒲郡市立蒲郡南部小学校	児童	80
浅井猛	授業	1月21日	金	蒲郡市立蒲郡北部小学校	児童	15
川上昭吾	教員研修講師	1月22日	土	初等理科研究会	25名	25
川上昭吾	教員研修講師	2月3日	木	幡豆郡一色東部小学校	20名	20
浅井猛	サイエンスショー	2月4日	金	蒲郡市立形原北小学校	児童 575名 教員 28名	603
浅井猛	授業	2月23日	水	蒲郡市立塩津小学校	児童	125
川上昭吾	研究会講師	2月24日	水	阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクト	教員	32
浅井猛	授業	3月7日	月	愛知学泉大学付属桜井幼稚園	幼児 17名 教員 13名	30
山中敦子	理科授業	3月17日	木	愛知産業大学付属三河中学校	生徒 36名 教員 4名	40

4 研修等の受け入れ

(1) 職場体験学習

受け入れ期間	学校名	人数
5月25日（火）—27日（木）	蒲郡市立大塚中学校（2年生）	1
6月16日（水）—18日（金）	蒲郡市立形原中学校（2年生）	5
7月31日（土）—8月1日（日）	高校生インターンシップ	2
8月6日（金）—8月8日（日）	高校生インターンシップ	2
8月7日（土）	岡崎市立矢作中学校（2年生）	1
8月26日（木）—28日（土）	愛知県立蒲郡高等学校（2年生）	2
8月31日（火）—9月2日（木）	蒲郡市立蒲郡中学校	2
平成23年1月19日（水）—21日（金）	蒲郡市立塩津中学校	3

(2) 博物館実習

本年度より、博物館で学芸員として働くための資格取得を目的とした、実習生の受け入れを開始した。初回となる本年度は、静岡大学理学部4年生2名、愛知教育大学4年生1名の合計3名を受け入れた。

博物館実習のプログラムは下記の通りである。

- 1) 期間
平成 22 年 9 月 16 日 (木) ～21 日 (火) 6 日間
- 2) 会場
蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館
蒲郡市博物館
竹島水族館時
- 3) プログラム
9 月 16 日 (木)
博物館実習ガイダンス
館内見学
講義 (生命の海科学館 川上館長)
展示解説作成実習 (1)
9 月 17 日 (金)
蒲郡市博物館 見学と解説「地域ミュージアムの資料収集について」(蒲郡市博物館 小田学芸員)
展示解説作成実習 (2)
9 月 18 日 (土)
来館者調査実習 (1)
展示解説作成実習 (3)
9 月 19 日 (日)
来館者調査実習 (2)
教育普及活動サポート実習
9 月 20 日 (月・祝)
竹島水族館見学
展示解説作成実習 (4)
展示・プレゼンテーション実習
9 月 21 日 (火)
来館者調査レポート作成
来館者調査結果レポート発表+評価

Ⅲ 科学館ネットワークの構築

サイエンスショー、ワークショップ、講演会、科学講座等を運営するために、個人、大学、学校、企業等から支援を受けた。それは「科学館ネットワーク」という支援組織を作り上げることになった。

個人は 37 名、企業団体としては 45 団体、合計 82 個人・団体である。

1 協力者

野上智行 片山舒康 戸谷義明 戸田茂 岩山勉 石田博幸 野田敦敬 佐藤成哉 藤倉克則 小林龍二
坂田貴仙 寺田安孝 山本太郎 伊藤広司 広瀬紀明 堀内智晴 村松英昭 酒井定 平岩和通 見神元義
加藤隆生 渥美守久 赤堀隆 水藤直毅 竹内元一 林正道 鈴木東一郎 金澤雄一郎 太田薫 千賀俊明

小田美紀 鈴木麻未 川村益彦 金沢洋子 加藤隆生 渥美守久 林正道

2 協力企業団体

愛知教育大学 愛知工科大学 東京学芸大学 中部大学 愛知淑徳大学 愛知青年の家 アイシン・エイ・ダブリュ(株) 稲葉製綱(株) 伊藤光学工業(株) (株) INAX (有) 太田紙工 杉江電設(株) キリンビール(株) 三栄製綱(株) (株) ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(株) 鈴寅 島津理化(株) 大日本図書(株) 竹内電気興業(株) 竹本油脂(株) 中部電力(株) (株) 東洋発酵 パナソニック電工(株) 三菱電機住環境システムズ(株) TOA(株) NPO 法人テクノプロス (有) ティック・タック・トオウ (株) 東海分析化学研究所(株) ニデック NPO 法人青少年自立援助センター北斗寮 リコージャパン 平岩動物病院 金沢ヒューマン文庫を愛する会 人形劇「とうふねこ座」 竹島クラフトセンター (有) 馬勘商店 (株) リコージャパン ホンダ技研工業(株) (有) 蒲郡ホンダ販売 キリンビバレッジ(株) 国立科学博物館 国立大学協会 蒲郡市竹島水族館 蒲郡市博物館 (株) ヤガミ

3 他団体との連携

愛知工科大学と、「蒲郡の科学コーナー」の一つのブースを研究室が交代で出展することになった。

IV 広報活動

1 広報活動

科学館の活動を次の方法で周知を図った。

- (1) 行事案内(イベントカレンダー)を作成し、蒲郡市内全児童生徒に配布した。時には、市内全戸に配布した。配布したイベントカレンダー(例)は、下に示す。
- (2) 行事案内(イベントカレンダー)を、市内観光施設、市内公所、県内各種教育機関に周知した。
- (3) ホームページでは、常に新しい情報を掲載した。
- (4) 蒲郡市生命の海科学館のパンフレットを刷新した。
- (5) 行事案内の周知をマスコミに依頼した。

マスコミに掲載されたニュース、記事等は以下のようなものである。

1) テレビ

NHK放送ニュース 企画展
三河湾ネットワーク株式会社 企画展
三河湾ネットワーク株式会社 イベント情報
など

2) 雑誌等

じゃらん、るるぶ、はなまる等の旅行雑誌、地域情報誌に多数掲載

3) 新聞

中日新聞	9回
毎日新聞	1回
読売新聞	1回
東愛知新聞	16回
東日新聞	18回

イベントカレンダー例（夏休みのイベントカレンダー）

生命の海科学館 8月イベントカレンダー

開催時間	内容	講師	定員	備考
1日	11:00-14:00 「化学マジックショー」	戸谷義明さん(愛知教育大学 教授)		
	17:30 「南極のお話」	戸田茂さん(愛知教育大学 准教授・蒲郡市在住)		
2月	10:00-13:00 「思いは伝わる。エー！(電気と磁石)」	浅井インタープリター	各30名	
3火	14:00 「石トラングスタラジオ作り」	平岩和通さん(平岩動物病院) 参加費:500円	定員:15名	
4水	10:00-14:00 「バイオ・アドベンチャー」	(株)J-TEC	定員:各30名	
5木	10:00-14:00 「界面活性剤とは～界面活性剤の実験～」	講師:竹本法郎(株)	定員:各30名	
6金	10:00-14:00 「ごま油のできるまで～ごま油を作ってみよう～」	講師:竹本法郎(株)	定員:各30名	
	10:00-14:00 「発酵技術とは～健康と美の科学技術の紹介～」	講師:(株)東洋発酵	定員:各30名	
7土	10:00-14:00 「あいちいきものキャラバン展」モリゾー、キッコロがくるよ!カップインゲーム、ビンゴゲーム開催!			
	19:30-20:45 「ボンボン製作」	講師:堀内智明さん(蒲郡市立中央小学校 教諭)	定員:各20名	
8日	講演会「深海パラダイス!海の世界の生物多様性」	講師:藤倉克明さん(JAMSTEC 海洋・極限環境生物圏領域 教授)	定員:80名	要申込
9月	10:00-14:00 「発酵技術とは～健康と美の科学技術の紹介～」	講師:(株)東洋発酵	定員:各30名	
10火	10:00-14:00 「なるほどなつく～あたらしい電気とこれからの電気」	講師:杉江電設(株)	定員:各20名	
11水	10:00-14:00 「チャレンジ!電気の実験・工作教室」	講師:杉江電設(株)	定員:各20名	
12木	10:00-14:00 「電気のしくみを学ぼう!!～いろいろな電気を体験しよう～」	講師:中部電力(株)	定員:各20名	
13金	10:00-12:00 「アナログおもちゃ屋さん」	講師:見津元義さん(大日本図書 職員)	定員:各20名	要申込
	12:00-14:00 「竹島周辺の海の生物観察」	講師:片山好彦さん(東京学芸大学 教授)	定員:20名	要申込
14土	10:00-14:00 「おもしろ科学実験」	講師:村越英祐さん(蒲郡市立西浦小学校 教員)		
	19:30 「桂子夏の星座とベレセウス星流観望観察」	講師:蒲郡市内教員	定員:40名	雨天:中止
15日	10:00-14:00 「浮球のつくりかた」	講師:伊藤先生(浮球製作所) 定員:各20名 参加費:100円		要申込
	11:00 「へー?ひかりってフ・シ・ギ!」	講師:若山健さん(愛知教育大学 教授)		
16月	10:00-13:00 「ふうせんスライムをつくらう」	講師:寺田安孝さん(成美高校 教諭)	定員:各20名	
	14:00 「地球温暖化を学ぼう～化学実験しよう～」	講師:(株)東洋分析化学研究所	定員:各20名	
17火	10:00-14:00 「里山の釜(人形劇)と野鳥の釜(ハーモニカ演奏)」	講師:星美守久さん(カラスの舟運人)	定員:各20名	
18水	10:00-14:00 「紅を作る風景を作ってみよう!～光の分光器で虹を作ろう～」	講師:(株)ニチック	定員:各20名	
19木	10:00-14:00 「ロープで夏休みの工作を作ろう!～ロープのかんたんなお話～」	講師:稲葉智博(株)	定員:各20名	
20金	11:00-14:00 「からくり体験人形づくり」	講師:伊藤広司さん(蒲郡市立中央小学校 教諭)	定員:各20名	
21土	19:00 「読み語り」	講師:ヒューマン文庫グループ	定員:50名	
22日	10:00-11:00 「きでてるお話をもうおもしろく」	講師:山本大郎さん(蒲郡市立中央中学校 教諭)	定員:各40名	
23月	10:00-14:00 「すごいぞ!光とレンズ 学ぼう!実験しよう!」	講師:伊藤光工業(株)	定員:各20名	
24火	10:00-14:00 「さんぶんせみをつくらう(竹炭工)」	講師:立原紀明さん(元蒲郡市立西浦小学校 校長)	定員:15名	
	14:00 「空気ゴムづくり」	講師:水野弘洋(当館 職員)	定員:20名	
25水	10:00-14:00 「みかん染め体験」	講師:竹島クラフトセンター	定員:各12名 参加費:500円	
26木	10:00-14:00 「空き缶の貯金箱作り」	講師:キリンビール(株)	定員:各20名	
27金	10:00-14:00 「おもしろ科学実験キャラバン展」	講師:赤堀隆さん(愛知県青年の家 所長) 他		
28土	10:00-14:00 「ピンホールカメラで写真を撮ろう」	講師:水藤龍彦さん	定員:15名 参加費:200円	
	14:00-15:00 「ものづくりを体験しよう」	講師:アイシン・エイ・ダブリュ(株)	定員:各30名	
29日	10:00-14:00 「お話を聞いたびびり～人型ロボットの仕組みを解説しよう～」	講師:(株)武美	定員:各20名	

※イベントについて
定員のあるものは開始1時間前から受付開始、定員になり次第受付終了します。
要申込のイベントにつきましては、電話・ファックス・HPの職員電子受付サービスよりお申し込みください。
イベントの内容は変更する場合がありますので、科学館HPでご確認ください。

この夏
科学館が変わります

夏のイベントもたくさん!
もっと楽しく学べる科学館で
科学のとびらをあけてみよう!

7月19日

海の日は

午前9時から12時まで
3階展示室を無料開放します!

午前10時から

アルビン号の深海探検の
試写会を実施します(先着100名様)

ご来場の方にはプレゼント贈呈!

サイエンスショー

ソーラーバルーンをとぼそう!

講師:浅井インタープリター
時間:10:45～ 14:00～

生命の海科学館 2010年夏の企画展

深海パラダイス!

～ようこそ極限の世界へ～

スクリーニング
イベント

7/19

9/5

時間:午前9時～午後5時
※8月7日(土)は、夜9時までオープン!
会場:生命の海科学館 1階
入場料:100円(未就学児は無料)
展示協力:独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)

Alvin's Deep Sea Exploration

アルビン号の深海探検

3D

全額実写!あなたは深海に包まれる

7/19

9/5

会場:ミュージアムシアター

※科学館標準の観覧料が必要となります。
※上映スケジュールについては科学館のHPをご覧ください。

生命の海科学館

TEL 0533-66-1717 FAX 0533-66-1817
HP <http://www.nrc.zamagori.aichi.jp>

2 館長からのあいさつ

科学館の改革の現状やイベント等について、インターネットのホームページ上に、「館長からのあいさつ」として掲載した。その内容は次のようである。

○ 平成22年4月1日

平成22年4月1日に着任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

当館は、地球と海と生命の誕生、およびそれらが相互に関連しながら進化してきたことを展示紹介している、全国的にみても個性的な科学館です。

入口には、アミツオーク片麻岩、ヒゲクジラと珪化木があり、3階には、隕石、チャートとストロマトライト、縞（しま）状鉄鉱層等々を展示しています。

全体で20種類程度の展示品（細かく見ますとはるかに多くあります）で、地球の46億年の歴史を紹介することを目的としています。46億年という途方もなく長い間の変化を、わずか20種類程度の展示品で説明しようとするのは困難です。それを、当館ではビットというパソコンで説明しています。

たとえば、隕石は、46億年前に小さな地球にたくさんたくさん降り注いで地球を大きくし、水を運びこみ海を作ったことを示しています。チャートには、顕微鏡で見なければわからないような小さな小さな生命の痕跡があり、そのような小さな生命が38億年前には地球上にあらわれていたことを示しています。ストロマトライトについてみますと、この岩石のしましま模様は、シアノバクテリアが作りだしたものです。シアノバクテリアは光合成によって酸素を作り出しました。この酸素はものを酸化させる働きが強いために生物にとってはとても恐ろしい存在で、そのために生物は酸素から身を守る必要が生じ、それが複雑な生物を出現させる働きをしました。ストロマトライト一つがこのような複雑な過程の一つの断面を説明しています。

当館の展示品とビット（パソコン）は、この例にみられるような地球の壮大な進化を説明しています。

ところが、展示品とそれを説明するパソコンを一つ一つ丹念に見ていくことはなかなかできないことです。そうしますと、「わからない」こととになります。

この「わかりにくさ」は、当館の最大の弱点ととらえました。

今後は、「わかりにくさの克服」を課題として、その克服を目指します。

学芸員とインタープリターの2名、およびマリスタッフが、できるだけいねいに説明をいたします。また、展示品の意味がご理解いただけるような工夫をしております。

サイエンスショーやワークショップを随時開催して、子どもたちが保護者の皆さんとともに科学に親しむ場を新しく作ります。

どなたが参加されても科学の面白さと深さを感じるような講演会も開催しております。

わかるから面白い、面白いから親しみやすい科学館にしていきたいと思ひます。

本年度の改装オープンは8月1日としました。

その後も、より分かりやすく、魅力的で、市民に、そして国内全体にひろく開かれた科学館を目指します。

地球と海と生命をテーマとする当館に是非おでかけください。

○ 平成22年9月1日

様々な工夫をして8月1日に改装オープンしました。

蒲郡市外や県外からもたくさんの方々に来館して頂きました。心からお礼申し上げます。

8月中は毎日サイエンスショーかワークショップを開催しました。この人気は予想以上でした。

それは講師陣が非常に充実していたことが大きな理由であったと思ひます。協力して頂いた講師の方々にお礼申し上げます。特に、企業におかれましては、新しい試みにチャレンジして下さり、誠にありがたいことでありました。

「体験すること」は人の成長にとって極めて肝要なことです。ところが現代社会ではそれが不足しています。当館は子ども達に「体験という滋養」を提供して参ります。

3階の展示室は「わかりやすく」を目標に様々な工夫をいたしました。じっくり展示品をご覧下さる姿がたくさんになりました。企画展「深海パラダイス」もなかなかの人気でした。

秋以降もどんどん工夫していきます。

当館は、数は多くありませんが第1級の展示品を集めています。是非、「実物」をご覧においで下さい。私の「一押し」は世界の学説を変えた最古の脊椎動物・ハイコウイクチスです。これが当館にあります。日本中、また世界中、現地以外では当館しか見ることができません。研究者も必見です。

9月から、サイエンスショーとワークショップを、土曜日と日曜日を中心に開催します。

トップバッターは、中部大学の石田博幸先生のショーから始めます。5日(日)午後2時です。石田先生のショーは、面白く物理を学べると評判が高いですので、ご期待下さい。

私自身も「顕微鏡と顕微鏡写真の達人になろう」という講座を毎月1回開きます。これは、小学校高学年以上、特に中学生の皆さんが、続けて参加することを期待しています。ミクロの世界は感動することばかりです。自らの手で観察して、感動を実感して下さい。私が大学で使っていた方法を伝えたいと思います。第1回は9月26日(日)です。

9月からは、大人向けの講演会と講座を新たに開設します。

講演会は、国立大学協会常務理事・前神戸大学学長の野上智行先生が、「ヨーロッパの科学館からメッセージ」と題してお話しして下さい。高名で大変お忙しい先生をお呼びしましたので、是非お出かけ下さい。開催日は11月6日(土)です。事前申込(80名)です。

講座では、科学の話を気軽に楽しんで頂きたいと思います。10月10日・「目の日」に、ニデックKKさんから開始します。次いで、前市民病院外科部長・竹内元一さんは「蒲郡の蝶について」(12月12日)、その次は中部大学石田博幸先生が再度来館してくださり、魚の鰓蓋が人の耳小骨やのど仏に進化したという興味深い話をされます(開催日は来年2月頃)。講座は、この後も続けます。

当館は、科学に関する文化の発信基地の一つとして活動して参ります。

大学の先生、学校の教員、企業、シニア、行政など様々な方々と連携してネットワークを作り上げ、楽しく科学を学ぶ場としていきます。

これからもよろしくお願い致します。ご期待も下さい。

○ 平成23年1月7日

蒲郡市生命の海科学館は改装オープンから5ヶ月が過ぎ、利用者は確実に増え続けています。これからも「わかりやすく、親しみやすい科学館」をめざしてまいります。平成23年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

毎週土曜日と日曜日の午後から実施しているワークショップとサイエンスショーをご存じの方は増えてきました。これからの日本を作っていくのは間違いなく子ども達です。私たちは子ども達の創造性の芽を育てていきたいと考えています。そのために、子どもの感性をはぐくむ科学的な体験を豊かにしていかなければならないと考えています。ワークショップやサイエンスショーは子どもの感性を育てるためになくはならないことなのです。したがって、ワークショップやサイエンスショーの内容に工夫を凝らして、より感動を呼ぶもの、自然のしくみについて何かがわかるものに充実させていきたいと思っております。当館がめざしていることをご理解いただき、たくさんのご家族が生命の海科学館においで下さることをお待ちしております。

昨年8月1ヶ月を通してすべての行事に参加して下さったファミリーがりましたが、そのように何度でもお越し下さい。コンピュータゲームのおもしろさと違った、極めて意義深い体験を味わうことを必ず提供して参ります。

学芸員とインタープリターが学校に参上して、理科、生活科、あるいは総合的な学習の時間等に参加させていただき、ご授業に深みや広さを加味する出張授業の提案は、最近多くの学校に知っていただき声をかけていただけるようになってきています。子どもの知的な欲求ははかりしれなく高いものがあります。発展的な学習の意義の深さは誰もが認めるところです。当館は深く広い知見を子ども達に提供し、子ども達の興味関心を深めていきたいと思っております。

蒲郡市内の学校である必要はありませんので、どうぞ当館の学芸員やインタープリターを学校にお呼び下さり学校教育活動を豊かにして下さいますようお願い致します。

当館は子ども達のみならず、大人のために新しい科学的な情報を提供していきたいと考えています。蒲郡市にはさまざまな人材が存在します。それらの人材を活用させていただき、2、3ヶ月に一回ずつ「蒲郡一わかりやすい科学講座」を大人対象に実施していきます。大人数が集まる必要はないと考えています。これまでは市内の企業であるニデックさんと市民病院の医師であった方竹内元一先生に話題を提供していただきました。次回は私の個人的なつながりから前愛知教育大学の教授で現在中部大学教授の石田博幸先生から、が3月20日の午後2時から、「耳からわかる私たちの先祖、それは魚！」と題してお話いただきます（聴講無料）。生命の進化を扱う当館にピッタリのお話です。どうぞ気軽にお出かけ下さい。

その後も多才な講師を迎え講座を続けていきます。

この講座は市民の皆さんから講師を紹介いただき、手作りで身近な科学的な話題を理解していくようにしていきたいと思えます。

どうぞ科学館に気軽にお運び下さい。間違いなく皆さんの知的な興味関心を喚起し、大脳をくすぐると思えます。

当館は「わかりやすく、親しみやすく」をめざしてこれからも進化し続けていきます。

科学に関して、大人にも子どもにも学校にも意義がある科学館、すなわち科学のネットワークをつくりあげる科学文化センターでありたいと願っています。

引き続きご理解とご支援をお願い致します。

Ⅶ 入館者数

1 入館者数の推移

平成22年度の入館者は前年度に比べて飛躍的な増加をした。

それは、サイエンスショー・ワークショップの入館者が新規に増えたことが大きいですが、それにとどまらず観覧券入場者数や市民の入場者数も増えたことによる。

		11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度
生命の海科学館入場者数（計）		48,163	41,297	32,155	27,094	27,521	21,604
内訳	市民利用証入場者数	13,102	8,942	6,212	6,106	6,046	4,522
	（市民利用証発行数）	9550	2,837	1,633	1,408	1,526	944
	観覧券等入場者数	35,061	32,355	25,943	20,988	21,475	17,082
	（内訳：有料入場者）	27,525	26,352	21,024	17,588	17,959	14,017
	（内訳：無料入場者）	7,536	6,003	4,919	3,400	3,516	3,065
	サイエンスショー・ワークショップ						
	イベント・企画展入場者数						

		17 年度	18 年度	19 年度	21 年度	22 年度
生命の海科学館入場者数（計）		22,713	21,497	20,172	18,395	33,651
内訳	市民利用証入場者数	3,708	3,887	4,309	2,710	3,677
	（市民利用証発行数）	983	1,048	1,172	611	960
	観覧券等入場者数	19,005	17,610	15,863	15,685	19,354
	（内訳：有料入場者）	15,959	14,559	13,071	14,147	14,897
	（内訳：無料入場者）	3,046	3,051	2,792	1,838	4,457
	サイエンスショー・ワークショップ					7,640
	イベント・企画展入場者数					2,980

2 学校等団体の来館

学校等の団体の来館は次のようであった。

訪問日	団体名	人数
4月28日	愛知教育大学附属養護学校	20
4月29日	愛知教育大学学生・教員	35
4月30日	岡崎市立生平小学校	99
5月10日	蒲郡南部小学校	70
5月15日	東海学園高等学校教員	8
6月10日	三谷東小学校	20
6月19日	初等理科三河支部研修会(教員)	20
6月21日	愛知教育大学附属岡崎小学校	36
8月2日	蒲郡市理科部会(教員)	30
8月6日	豊明市理科部会(教員)	25
8月10日	田原市理科部会・理科同好会(教員)	15
9月16日	三谷東小学校	52
9月16日	豊橋養護学校	8
10月4日	ハートピア岡崎	30
10月5日	西三河生物教育研究会	20
10月5日	御津南部小学校	110
10月5日	形原北保育園	25
10月20日	岡崎市第2さわらび幼稚園	69
10月21日	田原市福江小学校	57
10月21日	西浦小学校	46
10月23日	半田工業高校 PTA 研修	25
10月28日	愛知工科大学	20
10月29日	刈谷東高等学校	35
10月31日	財団法人オイスカ高等学校	26
11月8日	蒲郡市立形原小学校	80
12月3日	蒲郡市教育委員会女性教員研修	50
12月4日	蒲郡市職員組合	30
12月4日	知多市教育委員会教員研修	30
12月5日	岡崎市連尺小学校	50
12月5日	JTB 中部モニターツアー	50

12月6日	愛知学泉大学桜井幼稚園	30
1月9日	JR 東海さわやかウォーキング	200
1月24日	中国人教育旅行	30
2月15日	愛知学泉大学桜井幼稚園	30
2月21日	愛知学泉大学桜井幼稚園	30
2月26日	岡崎市六名小学校	20
2月28日	愛知学泉大学桜井幼稚園	30
2月28日	蒲郡市立中央小学校	45
3月1日	蒲郡市立鹿島保育園	50
3月11日	愛知教育大学附属岡崎小学校	160
	総計	1816

VI 研究部門

1 論文

- (1) 寺田安彦・川上昭吾, 「高校生のための博物館学習プログラムの実践」, 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第13号, pp. 51-58, 2010.
- (2) 川上昭吾・寺田安孝, リピーター育成を視野に入れた高校生のための博物館活用講座, 愛知教育大学研究報告第58輯(教育科学編), pp. 203~208, 2009.

2 学会発表

- (1) 川上 昭吾・山中 敦子・浅井 猛, 「「生命の海科学館」の活動を通じた社会連携活動の在り方の開発研究Ⅰ—特に, 発信型科学館改革構想の策定について—」, 日本理科教育学会第60回全国大会、2010年8月7日、開催地: 山梨大学
- (2) 山中 敦子・川上 昭吾・浅井 猛, 「「生命の海科学館」の活動を通じた社会連携活動の在り方の開発研究Ⅱ—特に, 学校との連携について—」, 日本科学教育学会第34回年会、平成22(2010)年9月10日(金)~12日(日) ※発表は11日、開催地: 広島大学(東広島キャンパス)
- (3) 山中 敦子・川上 昭吾・浅井 猛, 「「生命の海科学館」の活動を通じた社会連携活動の在り方の開発研究Ⅲ」, 日本理科教育学会 第56回東海支部大会、平成22(2010)年11月27日(土)、開催地: 岐阜聖徳学園大学

3 講演

山中敦子、「地球のなりたちと海の誕生」(いっしき環境まちづくり大学)、日時: 平成22年8月17日(火) 13時30分~、会場: 幡豆郡一色町役場会議棟

4 研修

- (1) 専任事務員は蒲郡市の既定の研修を受けた。
- (2) 平成22年度学芸員専門アドバンスト・コース(主催: 独立行政法人 国立科学博物館、全国科学博物館協議会) 学芸員1名が参加

- (3) 平成 22 年度愛知博物館協会部門別研修 調査・研究研修会 博物館・美術館における LED 照明の可能性」 学芸員 1 名が参加
- (4) マリンスタッフの研修を下記のとおり実施した。
- 1) 4 月 13 日 午前 9 時 30 分～11 時 30 分：「隕石とはやぶさ」(担当：山中学芸員)
 - 2) 5 月 11 日 休館日午前 9 時 30 分～11 時 30 分：「生命誕生と深海」(担当：山中学芸員)
 - 3) 6 月 8 日 午前 10 時～12 時：「ブーメランで遊ぼう」(担当：浅井 猛)
 - 4) 9 月 14 日 午前 10 時～12 時：(担当：館長)
 - 5) 10 月 19 日 午前 9 時 30 分～11 時 30 分：「生物の進化と系統樹」(担当：山中学芸員)
 - 6) 12 月 14 日 :「科学館の現状と今後」(担当：館長)
 - 7) 平成 23 年 2 月 8 日 13 時 30 分～15 時「当館の本年度の活動と次年度の方向」(担当：館長)
 - 8) 3 月 8 日 13 時～15 時：「ワークショップの材料研究」(担当：館長・見神元義氏)

VII 組 織 ・ 運 営

1 名称変更

見直し検討委員会の審議の中で、科学館の名称が「蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館」とあり、「わかりにくい」との指摘がある。

これを受けて、科学館の名称を「蒲郡市生命の海科学館」とすることにした。

関連して、英語名を和名に合致させること、Gamagori Natural History Museum –Sea of Life の副の名称を取る等の理由から「 Gamagaori Museum of Earth, Life and the Sea 」に改めた。

2 組織

- (1) 科学館事業に関与する部門
館長（非常勤）、情報ネットワークセンター長、同副センター長、学芸員 1 名、主事 1 名、インタープリター（前教員） 1 名、非常勤職員 1 名、マリンスタッフ 15 名
- (2) 施設運営等に関与する部門
情報ネットワークセンター部門主事 4 名、非常勤職員 1 名

3 施設の整備

- (1) 実験工作室
ワークショップを実施する会場として「実験工作室」を作った。
間仕切り変更、床貼替え、給排水設備工事、照明空調設置など実験工作室工事費は 3,595,200 円、演示用机 1 台、実験工作用机 6 台の配置など、設備費は 2,104,200 円であった。
- (2) サイエンスショールーム
サイエンスショーを実施する目的で、従来いわゆる「温室」と呼ばれていたガラス室を、改装した。雨漏り対策として屋根の設置、床の張り替え、給排水設備工事、空調設置など工事費は、5,822,400 円であった。

4 歳入・歳出

事業支出は、年度ごとに減少してきている。これは、使用している機器がリースアップを迎えたこと、

機器の消耗品の取りかえをスタッフで行ったことが主な要因である。この努力は今後も継続していかなければならない。

入館者が増えたことにより入館料収入も増えている。しかし、割引制度が普及してきたために、入館料収入は入館者数の増加に比例していない。

単位（千円）

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
支出 ※	154,987	266,957	234,613	228,313	209,717	155,954	149,738	145,462
収入 ※※	16,809	15,260	12,705	10,551	10,126	7,832	8,541	8,130

	19年度	20年度	21年度	22年度
支出 ※	130,841	128,649	118,044	129,996
収入 ※※	6,877	7,579	6,755	8,039

※ 科学館も含む情報ネットワークセンターとしての総支出額である。

※※ 科学館の入館料である。

Ⅷ 反省と今後の課題

今後の課題としては、「わかりやすく、親しみやすく」を継続していくことになる。このことに関して、次の大きな課題が残っている。

(1) 展示室の改善

非常に価値のある展示品であるが、わかりにくい。

VITは、日進月歩の電子機器の世界で12年間も更新がなされていない老朽品である。これも大きな課題である。

(2) 展示室の学校教育での利用

展示室の展示品それぞれは、学術的に極めて高い価値を持った物ばかりである。世界的に見ても価値が高い展示品である。

今後、小、中学校の理科教育に直接利用してもらうことを具体化したら良いと思われる。

なお、学校の遠足利用では、大いに利用されるようになってきている。

(3) ミュジウムシアター

ミュージウムシアターの更新も行う必要がある。特に、「ゲーム：生命の海への旅立ち」は開館以来の出し物である。内容的に検討すべき箇所も見つかっている。

ミュージウムシアターの在り方を根本的に検討しなければならない。

(4) スタッフの役割の見直し

館長、学芸員、インタープリター、行政職員、マリNSTAFFについて、新たな活動に対応できる組織を作り直す必要がある。

(5) サイエンスショーとワークショップ

サイエンスショーとワークショップは盛況である。

しかしながら、スタッフへの加重負担となっている現状を鑑みると、質的な検討を行う時期に来

ている。

(6) エコ化

科学館の運営を常に見直し、必要経費を削減しつつ、よりよい科学館作りを目指すべきである。

この1年間の最大の成果は、科学館を支援する企業・人のネットワークを構築できたことである。

科学館は今や科学館一人ではない。多くの人に支えられて、「科学館は価値ある存在であること」が知られるようになってきた。

今後目指すことは、市民に理解され、市民に愛され、市民に支えられ、市民や学校に利用される、市民のための科学館となることである。

そのような科学館となったとき、「蒲郡市は、科学文化センターとして機能する、いい科学館を持っている」と世間から言われ、科学館を持っていることが市民の誇りとなり、ひいては大きな観光資源となることは間違いない。

23年度に向けて

平成22年度は、「わかりやすく、親しみやすく」を実感していただくため、科学館事業として新たにサイエンスショー、ワークショップなどを開催し、開館以来続いていた入場者数の低落傾向を止め、V字回復を達成することができた。これも、多くの支援者の協力があったからこそ達成できたもので、ここにご協力をいただいたすべての方に深く感謝の意を表したい。

多くの方々に支えられ順調なスタートを切った科学館事業であるが、更に楽しんでいただける施設とするため、平成23年度に向けて特に力を入れたい取り組みを挙げると次のとおりである。

1 来館者数の増加に向けた取り組みと学校連携

多くの人に利用していただくことが当館の目指す最重要事項であり、常に来館者数にこだわった取り組みをしていかなければならない。そのためには更なる来館者の掘り起こしが可能で、かつ継続的な来館者の確保を期待できる学校の来館が重要なカギとなる。そこで学校との連携強化と理科教育の拠点となり得るための学習カリキュラム等の整備を行わなければならない。

2 費用対効果を踏まえた事業展開と利用者ニーズに添った意義ある活動

改革の目指す方向は、「わかりやすく、親しみやすく」である。小学生でも理解でき、かつ大人にも感動を与えられる事業を最小限の経費で最大限の効果を上げる形で達成しなければならない。つまり経費的には、事業内容の精査を行うことでスリム化・効率化を図り、効果の判断は、利用者目線で行い、利用者の満足度を第一に考えた事業展開を図らなければならない。

3 関連施設との連携

当館の周辺には、いずれも海に面した幾つかの関連施設が点在し、観光・文化ゾーンを形成している。これら施設との連携を図ることにより大きな相乗の効果が期待できる。点から線へ、線から面へ、そして地域全体に大きな波及効果をもたらすような連携施策を当館から発信していきたい。

4 支援者のデータベース化

バックヤードのない当館が継続的な運営を行うには、人的ネットワークを更に広げるとともに、有効に機能させるための支援者のデータベース化（人材バンク化）を図ることが重要となる。これにより講師依頼がスムーズに行えるようになり、余裕を持ってイベント計画が立てやすくなることで、より質の高いイベントの提供が可能となる。

平成22年度の見直しにより、解決すべき課題もかなり明確なものとなり、進むべき方向性も絞り込みがされてきた。今後は、実現性・継続性という見地から更に吟味することが必要となる。

ウォルト・ディズニーは「ディズニーランドは永遠に完成しない。世界に想像力がある限り成長し続ける。」という言葉を残した。何度来ても楽しく、愛され続けるには、常に新しいアイディアが必要であることを、敢えて「未完成」と表現しているのである。当館は、ディズニーランドとは比較にならないほど小規模な施設である。しかし、小規模であるからこそ常に新しい感動を来館者に提供していかなければならない。そのためには支援者の協力を得ながら、全職員の創造力を結集し、常に成長し続けることが重要となる。

平成23年4月1日

情報ネットワークセンター センター長 尾崎弘章

平成22年度 蒲郡市生命の海科学館事業報告

発行日 平成23年4月1日

発行者 蒲郡市生命の海科学館

住 所 郵便番号 443-0034 蒲郡市港町 17-17

電 話 0533-66-1717 FAX 0533-66-1817